

一般社団法人朝霞地区薬剤師会

あさやくだより

第10号



(一社)朝霞地区薬剤師会
 発行人: 広報委員長 細川 玄機
 〒351-0021朝霞市西弁財1-10-21-312号
 TEL:048-483-4125 FAX:048-483-4126
 asaka-ph@asakaph.or.jp

会長挨拶

定時社員総会も終わり事業は始まっているものの、今年度は気が重いスタートとなっています。なによりも、会の重点事業である研修会が2月以降開催できない状況が続きました。地元で開く質の高い研修会は当地区の目玉であり多くの薬剤師が待ち望んでいます。集合研修は3密になりやすく、安心、安全を担保することができません。7月に入って、ウェブ会議ツール等を使用した受講にも時限的な特例措置で研修受講シールが発行されることになり、従来通りの研修会に加え、Zoomなどを使ったWeb研修会の導入も検討しています。ただ、吸入指導研修など実技研修を伴うものへの対応が難しく、認定に係る多くの学会や団体も同じ悩みを抱えているようです。

4月の調剤報酬改定で「吸入薬指導加算」、「服用薬剤調整支援料2」が新設されました。地区で力を入れてきた事業が加算に反映されたことで、算定しやすかつ正しい加算となるでしょう。医師への情報提供には、当地区で作成された書式を積極的にご利用ください。糖尿病患者に対する「調剤後薬剤管理指導加算」も培った力が反映できるものです。これからの薬剤師は、これらの加算をきちんと算定できる力を持つ必要があるため、今後も薬剤師会は

しっかりバックアップしていきたいと思っております。

COVID-19は薬局経営にも大きく影響しています。感染を怖がる患者の受診抑制が大きな理由と思われませんが、受診が必要な慢性疾患の方々について、今後の影響が懸念されます。一方で、国民皆保険を守るために、不要な受診や投薬を無くそうという考え方もあります。その意味ではプラスの評価もあるかもしれません。すべてをマイナスととらえずに、前に進むことが大切と考え、新たな年度に向かおうと思っております。

(会長 畑中 典子・株式会社かくの木)

第6回定時社員総会 (6月25日)

第6回定時社員総会は、理事3名の参加のもと無事に終了いたしました。第1号～第4号議案については、事前に書面により過半数の賛成をいただき、すべて承認されたことをご報告し、会員の皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。

しばらくはこれまで通りの事業継続が難しいと思われませんが、地域の公衆衛生・医療を担う薬局薬剤師を支援するためにも、「新しい生活様式」に則って感染拡大防止を図りながら積極的に事業に取り組んで参ります。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

(常務理事 清水 勝子・新倉健康薬局)

当会主催研修会における「新型コロナウイルス等感染防止策ガイドライン」

新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防および拡散防止のため、下記の対応を行うことをお知らせいたします。

- 当面、参加は会員のみとします。
- 会場定員の半数を上限とし、希望者が定員を上回った場合は、1薬局1名又は当会で抽選とさせていただきます。
- 「新しい生活様式」に則り、席の間隔をできるだけ空けるなど、可能な限り身体的距離を確保します。
- 受講当日の体調をご確認の上、お越しいたきますようお願いいたします。
発熱がある場合、もしくは軽度であっても咳などの症状がある場合は、入場をお断りします。
- うがい、手洗い、消毒など、ご自身でも感染予防にも努めていただくようお願いいたします。
- マスクを着用してご来場ください。マスクについては、可能な限り各自でのご用意をお願いします。
- 3密を避けるため、受付混雑時は、距離を保って(最低1m)お並びください。
- 入り口にアルコール消毒液、体温計を設置します。出入りの際は、その都度手指の消毒をお願いします。
- こちらで指定した座席にお座りください。
- スタッフはマスクを着用し、会、会場内のドアノブ、椅子・机等の消毒を徹底します。
- 窓のある部屋においては可能な限り常時、2方向の窓を同時に開けて換気を行います。
窓のない部屋においては常時入り口を開けて十分な換気に努めます。
- 受講中に体調の変化を感じた場合は、速やかに係員にお申し出ください。
- 会場内での食事は禁止とさせていただきます。
飲み物については会場の外でお飲みいただき、マスク着用後室内にお戻りください。
- 状況によっては、研修会を中止・延期とする場合があります。
その場合は、ホームページでお知らせいたしますので、来場前に必ずご確認ください。
- 申込書記載の個人情報(氏名、勤務先、連絡先)は、必要に応じて保健所等の公的機関に提供されることがあります。



感染症拡大防止に
ご協力ください



ご参加くださる皆様の健康と安全確保のための対策であり、今後の状況に応じて変更となる場合があります。

ご理解の上ご協力いただきますようお願いいたします。(災害対策委員長 畑中 典子、研修委員長 須田 友子)

2019年度PP対策事業報告

埼玉県委託事業として朝霞地区と富士見市の薬剤師会が実施した「令和元年度ポリファーマシー対策事業」は、3月にすべて終了しました。お忙しい中ご協力くださった薬局の皆様には心より感謝を申し上げます。予定していた報告会はコロナ禍の影響で中止となりましたが、報告書は薬剤師会ホームページにも掲載しました。ぜひご覧ください。

昨年度は、薬剤師の介入後に対象患者のレセプトデータを入手し、城西大学薬学部薬局管理学教室が解析を行いました。これにより処方医への情報提供の成果がよりはっきりと示され、医師へのアンケートからも、情報提供が役に立ったこと、今後も事業の継続を希望するとの感想をいただきました。事業で用いた情報提供書は、調剤報酬改定で新設された「服用薬剤調整支援料2」の算定要件も十分に満たしています。また、昨年に引き続き、今秋札幌で開催予定の第53回日本薬剤師会学術大会の口頭発表、ポスター発表に第2報として演題登録をしました。

パイロット事業として始まった2017年からの3年間で、朝霞地区の薬局薬剤師のスキルが向上し、地域の医師と共にポリファーマシー対策に取り組むための基盤が整ったと感じています。今年度は助成金事業とはなりませんが、日々の業務の中でポリファーマシー対策を継続してください。



報告書→



畑中会長、ラジオ番組に登場！！

(常務理事 清水 勝子・新倉健康薬局)

薬剤師、薬学生、医療従事者などを対象にしたラジオNIKKEI(短波・全国放送)の番組『井手口直子のメディカル・カフェ』に畑中会長が出演します。

放送は、2020年9月10日・24日(23時30分～23時50分)
 「薬局の現状とポリファーマシー事業について(仮)」
 >10日放送分 コロナ禍における薬局の現状と対応(仮)
 >24日放送分 ポリファーマシー対策の推進事業(仮)

番組公式サイトから聴くことができます。➡



スマートフォンやパソコン等でラジオが聴ける無料アプリ「radiko(ラジコ)」や「ポッドキャスト」でも聴くことができます。

ウェブ研修会でも研修シールが発行されます

コロナウイルスの影響が続く中、研修委員会ではなんとか研修会が開催できないかと協議を続けておりました。感染拡大予防の観点からウェブでの開催が一番安心して研修会を開催できる方法である一方、集合研修として認められず研修シールが発行できないという問題点があったからです。

ようやく7月7日、薬剤師研修センターよりウェブ会議ツールを用いた研修が時限的(今年度末まで)に認められ、朝霞地区薬剤師会でも早速登録機関申請を行いました。

現在、ウェブでの研修会開催に向けて委員全員で準備を進めているところです。

第1回研修会のアンケートでいただいたご意見を参考に、今後も会員の皆様が安心して受講できる研修会を企画して参ります。詳細が決まり次第、皆様にご連絡いたします。

(研修委員

上妻 加奈・かくの木薬局)



令和2年度第1回研修会(7月31日)

2月以降、新型コロナウイルス拡大の影響により研修会の開催が困難でしたが、感染防止対策を最大限行うことでようやく令和2年第1回研修会を開催することができました。

会員の皆様に安心して研修会にご参加いただくために、研修委員会ではZOOMを利用して事前会議を開き、1ページで紹介したような「研修会における新型コロナウイルス等感染防止策ガイドライン」を策定しましたのでお知らせします。

今回の研修会は「2020年調剤報酬改定Q&Aなど」と題し、埼玉県薬剤師会の斉藤祐次副会長にご講演いただきました。調剤報酬改定が行われて4ヶ月経ちますが、新型コロナウイルスの影響により改定内容に関して深堀できていなかったところがあり、今回のご講演を聞いて解釈の違い等理解できた部分が多く、今後の業務に大きく役立つ気がします。

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されることもあり、なかなか大人数での研修は難しいと考えられますが、引き続き皆さまが安心して参加できるような研修会を企画・開催していきたいと思っております。(研修委員 斎藤 武志・あおい調剤薬局)



埼玉病院 薬薬連携連絡会議(7月21日)

独立行政法人国立病院機構埼玉病院にて薬薬連携連絡会議が開催されました。昨年まで定期的に開催されていたのですが、コロナ感染症の影響で延期されていたものです。

以下報告します。

1. 埼玉病院は、がんの地域拠点病院として連携充実加算を算定している。そのため、地域薬局との連携に向けた研修会を開催する予定。現状では大規模な開催が難しく、一定の制限を設けて30名程度の募集を予定している。11月くらいを考えているが、日程は決まり次第お知らせする。薬剤師会で募集をお願いする。
2. 地域連携ITツールである「けやきの輪」に、患者の参加同意が、少しずつ増えてきた。現在1400名程度いるので、薬局から積極的に同意の有無を確認して欲しい。検査値等の共有ができる。
3. 日曜祭日の開局情報について、休日受付カウンターの横にバーコードを入れた薬剤師会のポスターを掲示する。

(地域連携委員 大倉 裕子・あおぞら薬局)

新型コロナウイルス感染症対策（なぎさ薬局あさか店）

コロナウイルス対策として、当薬局でもアルコール設置場所の増設、アクリル板やビニールカーテンの設置、換気強化や定期的な消毒処理などを実施しています。

個人で出来る予防としては、手洗いや手指の消毒、マスクなどが挙げられますが、感染症予防に関して正しい知識を伝えることや、免疫力をなるべく落とさないようアドバイスしていくことが、今まで以上に必要になっていると感じます。コロナウイルスによる活動自粛や環境変化による影響は、身体活動量の低下や日光浴の減少、食生活の乱れやコロナうつ増加など、多くの人に影響を与えていると思います。

また、電話による服薬指導など対面以外での患者様とのコミュニケーションの重要性を感じた時期でもありました。他職種の方との連携においては、ICTツールを用いた情報共有がとても役に立ちました。どんな状況下においても、薬に関するだけでなく、より良い情報提供が出来る薬剤師、薬局でありたいです。

今後も薬局として出来ることを着実にやっていきたいと思えます。

（広報委員 酒井 清貴・なぎさ薬局あさか店）



新型コロナウイルス感染症対策（須田薬局）

新型コロナ感染症予防対策を始めた当初から、環境消毒、手指消毒にアルコールが有効なのか、次亜塩素酸ナトリウム液の至適濃度は何%なのか等、情報収集の毎日です。

当薬局では待合コーナーの換気扇と対角のドアを解放して換気、現在は虫よけ用に網を張っています。飛沫防止は投薬カウンターに天井から薄いビニールを垂らしました。

新型コロナウイルスに有効な界面活性剤が含まれている製品が公開され、硬貨は台所用合成洗剤を入れた水に一度つけ置きして洗浄しています。不織布マスクやエタノールが入荷しづらい状況の後にはソファやタッチ式自動ドアのスイッチ、棚やドリンクストッカーの扉の消毒は次亜塩素酸ナトリウム液0.05%を使用しています。

子供の絵本、冊子などを撤去し、ソファの位置は離し密接を避け、来客数により1日数回消毒、除菌しています。

（副会長 須田 友子・須田薬局本店）



委員会より

委員長交代

地域連携委員長 織田朋久理事の辞任により（7月31日付）、地域連携委員長が大八木実理事、研修委員長が須田友子理事に変更になりました。



第4回市民フォーラム中止！

昨年度は100名を超える市民の方々にご参加いただき、今年度も9月の開催に向けて準備を進めていた第4回市民フォーラムですが、残念ながら中止といたしました。

市民の安全に配慮した新しい形の市民フォーラムを現在検討しております。（市民フォーラム委員一同）

コロナ雑感



世界中で、いろいろな人が分野・言語を問わずコロナについて発言しています。発言している人がどのようなことに関心を持っているのか、どのような立ち位置なのか、どのような知的なバックグラウンドを持っているのか、さまざまなことが見えてくるようになりました。それと同時に、今までなんとなく存在していた世の中の矛盾点が具体的な論点として可視化されたために、問題が尖鋭化してきている側面もあるようです。

ウイルス自体や人間・社会の行動の非線形な変化の組み合わせに対応したモデルを私たちはまだ持っておらず、現時点では、さまざまな問題について固定的な結論を下すのは時期尚早だろうと感じています。

100年前の大恐慌をきっかけにマクロ経済学をゼロから築き上げたジョン・メイナード・ケインズは、自分の主張が時間とともに変わることを批判された際に「私は手持ちの情報が変われば意見を変えるよ。君はどうする？」と言ったとされています。今必要なことは、ケインズが言うように「手持ちの情報」をアップデートすること、自分の意見を「変えないこと」よりも「変えられること」なのではないかと思えます。

（広報委員 田代 健・地球堂薬局）

災害対策委員会新設

災害時及び緊急時に、迅速な意思決定と適切な対応を実施し、会員への速やかな情報伝達と情報収集に努めることを目的とし、災害対策委員会が設置されました。

3月には、「新型コロナウイルス感染症関連情報」サイト（一般向け、会員向け）をホームページ内に開設しました。続いて、会員薬局へのアンケートの実施（第1回：4月28日、第2回：5月28日）、また、厚労省から支給された無償マスク、アルコールを、地区内92薬局（会員薬局数110）に配布しました。

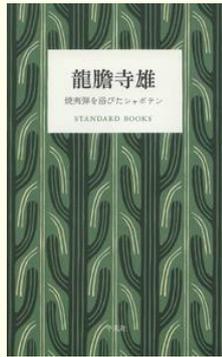
今後も地域行政、県薬剤師会、医師会、歯科医師会等と連携し、薬剤師会としてどうすべきか、何が出来るかを常に考えながら活動してまいります。

おすすめの本

龍膽寺雄「焼夷弾を浴びたシャボテン」

龍膽寺 雄 著 (STANDARD BOOKS 平凡社/2020)

平凡社のこのシリーズでは、様々な分野の科学者の文章をコンパクトに紹介しており、著作をすでに読んでいる場合には物足りない印象がありますが、初めて文章に触れる場合にはよい入口になると思います。この本の場合、植物の育て方についてWEBで得られるような情報の意味を正確に理解することの大切さを僕は教えられ、枯れさせてしまったと諦めていた多肉植物ともう一度向き合って復活させることができました。それを契機に、植物の生理や科学に関心を持つことになりました。



(広報委員 田代 健・地球堂薬局)

おすすめの映画

「ストーリー・オブ・マイライフ わたしの若草物語」

配給:ソニー・ピクチャーズエンタテインメント/ 2019



宣言解除になり、早速映画館に行きました。座席は一つおき、前後も重ならない、映画館は強く換気されていて、会話もありません、入り口にはアルコール消毒液が用意されていましたが、実際には数えるほどの観客でした。でも、大きな画面で久しぶりに堪能した映画に心が優しくなれた気がしました。オルcottの若草物語は少女たちのバイブルのような本ですが、映画では南北戦争時代の調度品や服装が本当に素晴らしい。アカデミー賞の衣装デザイン賞も納得です。女性の自立を描く古典でもあるのですが、今でも通じるセリフが沢山あります。女性の職業が確立されていない時代「結婚は女性にとっては経済問題よ」というセリフには笑えませんでした。現代は自立を目指す次女のジョーが沢山いますね。

(会長 畑中 典子・株式会社かくの木)

投稿お待ちしております♪

自由コラム

「大学研究室の建替えにより、実験ガラス器具が処分されてしまうのが忍びない。貰ってくれないか。」と知人より声がかかった。40年以上前の大学4年生の研究室を思い出し、その懐かしさにつられて、メスフラスコ、メスシリンダーなどの小物だけでなく、薄層クロマトグラフィー展開槽やデシケーターなどをつい持ち帰ってしまった。



それから数日後、別の知人より「メダカの卵が孵化して増えてしまったので飼育してみないか。」と話があり、メダカと水草が我が家にやって来た。急遽、展開槽とデシケーターはメダカ飼育の水槽に変身した。鉢底石、ウォーターポンプ、餌などを買い揃え、メダカ飼育が始まった。

新型コロナの感染拡大でステイホームの時間が多くなった中で、昔お世話になった実験器具の中で活発に泳ぐメダカの動きに癒されてきた。

飼育初心者であるが、近々ビオトープを作ろうと思う。思いがけず、楽しみが増えたこの夏の出来事である。

(喜納 美枝・株式会社かくの木)



俳句を楽しむ

松永 仁淡
(名誉理事 松永仁・松栄堂薬局)

川原辺を
走る子みんな裸なり

果てしなく
連なる山や罌雲

ふる里や
老人だけの盆踊り



学校薬剤師の皆様へ

県薬からの連絡、その他情報を会員専用ページにまとめました。ぜひご覧ください。



編集後記

他地区の実務実習生にお薬手帳の活用についての座学の依頼を受けた私…。早速、その講義のためのスライドの作成に取り掛かりました。学生が退屈せず、楽しく聞いてもらうにはどうしたらいいのかとあれこれ悩むものの、なかなかいい案が浮かばず…。ちょっと一息とテレビをつけたまさにその時、「うちのおかんがな…。」とテレビから最近よく聞く漫才のセリフが…。瞬時にこれだと閃いて、一生懸命ネタを考え当日をむかえました。

結局、シナリオが中途半端だったのかあまり学生には受けず不発に終わりましたが、まだそのネタの推敲は続けています。いつか大受けする日を楽しみに。

でもまずは相方を探さねば…。 (広報委員長 細川 玄機・三原薬局)



(一社) 朝霞地区薬剤師会
〒351-0021
朝霞市西弁財1-10-21-312号
TEL : 048-483-4125
FAX : 048-483-4126

E-mail
asaka-ph@asakaph.or.jp

